

有限責任監査法人トーマツ

〒108-8530 東京都港区芝浦4-13-23 MS芝浦ビル
説明書類および本誌は、Webページでもご覧いただけます。
www.tohatsu.com



トーマツグループは日本におけるデロイトトウシュートーマツリミテッド(英国の法令に基づく保証有限責任会社)のメンバーファームおよびそれらの関係会社(有限責任監査法人トーマツ、デロイト トーマツ コンサルティング株式会社、デロイトトーマツ ファイナンシャルアドバイザー株式会社および税理士法人トーマツを含む)の総称です。トーマツグループは日本で最大級のビジネスプロフェッショナルグループのひとつであり、各社がそれぞれの適用法令に従い、監査、税務、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー等を提供しています。また、国内約40都市に約7,100名の専門家(公認会計士、税理士、コンサルタントなど)を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はトーマツグループWebサイト(www.tohatsu.com)をご覧ください。

Deloitte(デロイト)は、監査、税務、コンサルティングおよびファイナンシャル アドバイザーサービスを、さまざまな業種にわたる上場・非上場のクライアントに提供しています。全世界150カ国を超えるメンバーファームのネットワークを通じ、デロイトは、高度に複雑化されたビジネスに取り組むクライアントに向けて、深い洞察に基づき、世界最高水準の陣容をもって高品質なサービスを提供しています。デロイトの約200,000人におよぶ人材は、“standard of excellence”となることを目指しています。

Deloitte(デロイト)とは、デロイト トウシュートーマツ リミテッド(英国の法令に基づく保証有限責任会社)およびそのネットワーク組織を構成するメンバーファームのひとつあるいは複数指します。デロイト トウシュートーマツ リミテッドおよび各メンバーファームはそれぞれ法的に独立した別個の組織体です。その法的な構成についての詳細は www.tohatsu.com/deloitte/ をご覧ください。

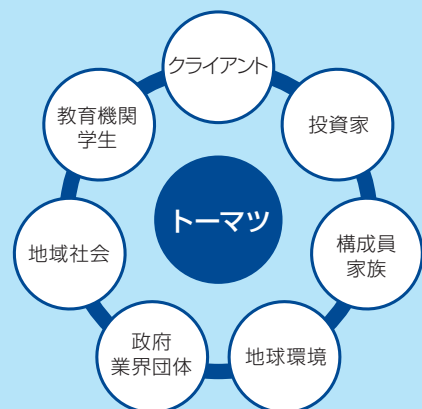
目次

- 1 トップメッセージ
- 2 トーマツグループについて
- 6 クライアントの期待に応えるために
—総合力を活かしたサービス—
- 8 デロイト トウシュ トーマツ
リミテッドとは
- 9 トーマツグループ業績
- 10 有限責任監査法人トーマツについて
<法人概要>
- 12 <ガバナンス>
- 13 <財務状況>
- 14 信頼されるプロフェッショナル
ファームであるために
—品質管理に対する取り組み—
- 16 高品質な会計監査業務の実施
- 17 企業や社会から求められる
「人材の育成」
- 20 持続可能な社会実現のために
CSR活動マップ

編集方針

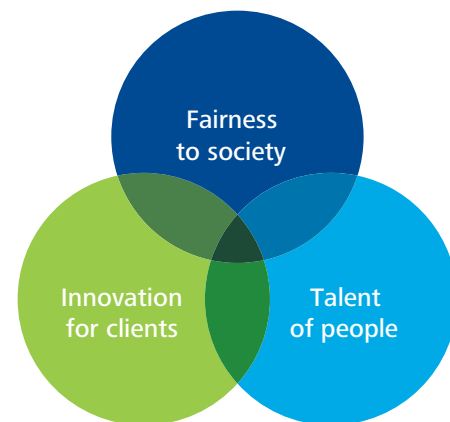
2009年に有限責任監査法人の登録を契機として、より積極的なディスクロージャーを行うためアニュアルレビューの発行を開始しました。ステークホルダー（利害関係者）の皆様にとーマツグループをより良くご理解いただく一助となれば幸いです。

主なステークホルダー



経営理念

トーマツグループの社員・職員は、いかなる局面でも経営理念を参照し、経営理念に忠実な行動を行うことが求められています。



Fairness to society

経済社会の公正を守り率先してその発展に貢献する
プロフェッショナル・ファームとして独立性を保持し、グローバルな視野に立って与えられた責任と役割を誠実に果たす。

Innovation for clients

クライアントの期待を超える知的専門サービスを総合的に提供する

多様化するニーズに応えるため、総合力を発揮できる組織を構築し、創造的で先見性に富んだサービスを提供する。

Talent of people

**各人の個性を尊重し能力を発揮できる
生きがいのある場を創り出す**

プロフェッショナルとして自らを鍛え、磨き、チームワークを守る一人ひとりが、生きがいを手にし、豊かな生活を実現する。

トップメッセージ

日本経済および日本企業の力強い発展に貢献するために

日本経済はアベノミクスによる金融緩和、景気刺激策により復調傾向にあります。2014年4月に消費税率の引き上げはあるものの、法人税減税など経済政策への期待感が高く、また、2020年東京オリンピック開催決定と、将来への明るい展望も見られます。多くの日本企業は、内需拡大と円安により企業業績を回復しており、加えて、海外M&Aなどでさらなる成長に向けた動きも盛んです。

こういった中で、私たちトーマツは資本市場の信頼を監査という立場から確保すること、並びに日本企業の国内外での力強い成長を支援することを進めています。

監査サービスの高度化

企業のビジネスが複雑化する中で、監査サービスにおいては、リスクアプローチのさらなる徹底を実施します。最新のグローバル手法の導入を進めながら、クライアントを立体的に把握し、総合的にリスクを評価する力を持つ、一流のプロフェッショナルを育成していくことが肝要であり、従来から実施している教育研修制度を強化する観点から、一人ひとりの人材育成が仕事を通じて実践される、きめ細かい指導・アサインメントの体制を強化しています。

日本企業のさらなる成長を支援

また、私たちの会計・監査・財務・ガバナンス等の知見を最大限活用して、企業の持続的成長を支援するアドバイザリーサービスを拡充しています。グローバルレベルでの経営管理やガバナンス体制、財務報告基盤構築・運用支援、リスクマネジメント体制構築などのサービスを通じて、日本企業のマネジメントおよびコーポレート機能の変革をサポートしています。

さらに、日本企業が熾烈なグローバル競争を勝ち抜くために、デロイト トーマツ コンサルティング、デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザリー、税理士法人トーマツ等のグループ会社との連携をさらに高め、それぞれのクライアントニーズにあったサービスを提供しています。たとえば、M&Aを活用した海外展開、グローバルバリューチェーンの再構築といった経営革新を実行しながら、クロスボーダーでの実効税率適正化を図るといった複合的な課題解決を可能にしています。

多様な専門家によるコラボレーション

トーマツグループの約8,000人の人材はそれぞれの専門性を高めながら、互いに連携し、クライアントに最高の価値を提供するミッションを共有しています。ビッグデータ、ファイナンス組織の変革といったクライアントの重要な経営テーマで、多数のソリューションを提供する統合サービスや、農業・医療といった成長産業も含めたインダストリーの知見の蓄積・発信などの取り組みが、日々活発に行われています。

また、海外、特に新興国での日系企業サービスの人材を拡充すると共に、日本においてもアジアビジネスサポートグループを設け、クロスボーダーで日本企業の発展を支援する取り組みに磨きをかけています。

社会課題解決への支援に向けて

日本社会が成熟する中で、国民の関心の高い社会課題の解決が重要です。私たちは幅広い専門性を課題解決に投入することで、事業を通じて我が国の持続的な発展にも寄与したいと考えています。引き続き会計・監査・ガバナンスの社会インフラの整備に貢献することはもとより、たとえば復興支援や街づくりといったテーマで、国・地方自治体との協働も強化していきたいと思っています。私たちトーマツが、新しい「良い社会」創りを支援しながら、自ら骨太な新事業を創出していく—— そういったイノベティブな活動を推進していきます。



CEO兼包括代表

天野 太道

トーマツグループについて

トーマツグループ*1は日本におけるデロイト トウシュ トーマツ リミテッド(DTTL)*2のメンバーファームおよびそれらの関係会社(有限責任監査法人トーマツ、デロイト トーマツ コンサルティング株式会社、デロイト トーマツ ファイナンシャル アドバイザリー株式会社および税理士法人トーマツを含む)からなる日本で最大級のビジネスプロフェッショナルグループです。多様化するクライアントのニーズに応えるため、グループ各社が専門性を磨くとともに、密接に連携することで、トーマツグループの叡智を結集したサービスを総合的に提供します。

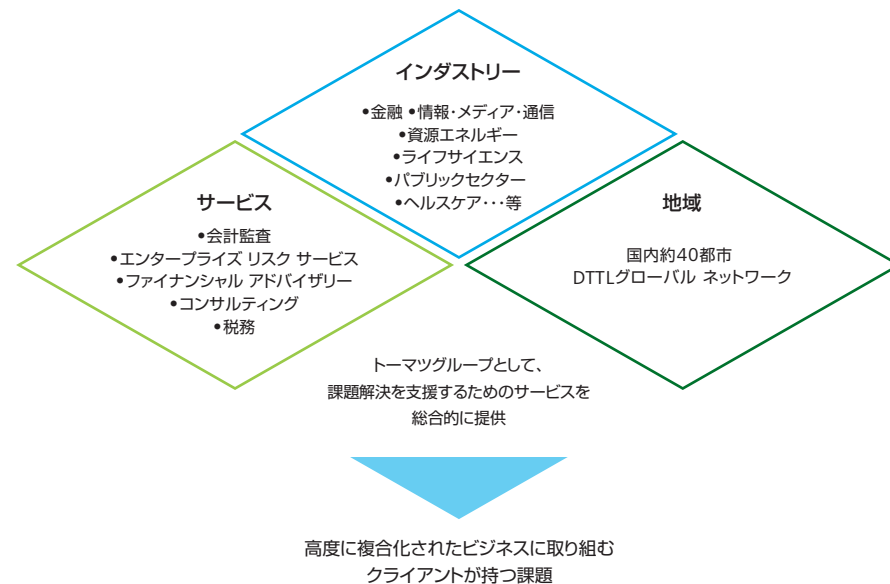
*1 トーマツグループ一覧については、9ページをご覧ください。

*2 デロイト トウシュ トーマツ リミテッド(DTTL)については、8ページをご覧ください。



<サービス>

トーマツグループは、「クライアントの期待を超える知的専門サービスを総合的に提供する」という経営理念のもと、各グループ会社の高い専門性とグループの総合力を活かしたサービス、業種／業界に特化した深い知見を持つインダストリー、デロイトのグローバルネットワークを活かし地域に密着した支援を行う地域(グローバル)の3つの側面から、課題解決に取り組むクライアントに対し、幅広いサービスを総合的に提供しています。



<インダストリー>

業界特性に精通したプロフェッショナルチームが支援します

クライアントのビジネスと業界特性に対する深い理解があつてこそ、良きアドバイザーとして、そのクライアントに適した価値あるサービスを、効果的かつ効率的に提供することができます。こうした認識のもと、トーマツグループは、インダストリーごとに、監査・会計、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー、税務の専門家が属するプロフェッショナル集団であるインダストリーグループを組織しています。各インダストリーが直面する固有の問題を熟知したプロフェッショナルチームが、知見を広く提供すると共に、クライアントに総合的な支援をしています。また、各インダストリーチームは、常に先進的なサービスを提供するため、デロイトのグローバルインダストリー活動と連携し、専門のインダストリーのホットピックはもちろん、そのインダストリーの将来的な課題やベストプラクティスの研究など、インダストリーにイノベーションを起こすようなテーマの研究を行い、日々研鑽を重ねています。

調査・報告

- ・グローバル調査の実施報告
- ・日本独自調査の実施・報告
- ・新興国市場情報提供

研究

- ・ベストプラクティスの研究

インダストリー

- ・金融
- ・製造
- ・資源エネルギー
- ・コンシューマービジネス
- ・パブリックセクター
- ・情報・メディア・通信
- ・ライフサイエンス
- ・ヘルスケア
- ・航空・運輸
- ・不動産

イベント

- ・業界団体イベントの講演
- ・専門セミナーの開催

情報発信

- ・メールマガジンの発行
- ・専門書の出版

資源エネルギーインダストリー

デロイトトーマツエネルギーフォーラム 2013年1月31日開催

トーマツのエネルギー業界における知見と欧米の先行事例を紹介しました。



『電力業界の俯瞰』

日本の電力の主要な論点を客観的な立場から俯瞰し、今後の電力制度のあり方について議論を進めるための事実・情報を整理しています。



専門書の出版

『Q&A 業種別会計実務』シリーズ(全12冊)／中央経済社・2013年3月発行
12の業種別の会計実務を解説した書籍を出版しました。



<地域(グローバル)>

国内外に広がるトーマツのネットワーク

トーマツグループは、日本全国の主要都市約40カ所に拠点を展開し、地域密着でサービスを提供する一方、積極的に駐在員を各国に派遣し、世界150カ国に及ぶデロイトのネットワークとともに、クライアントの発展を支援しています。

日系企業のグローバル展開をサポートする Japanese Services Group (JSG)

JSGのネットワーク

日本語によるサービスが可能な都市(2013年10月現在)

EMEA

ブリュッセル
ブダペスト
ブラハ
ワルシャワ
コペンハーゲン
パリ*2
デュッセルドルフ
フランクフルト
ミュンヘン
ミラノ
ダブリン
アムステルダム
モスクワ
バルセロナ
マドリード
ロンドン
ドバイ*1

アジア パシフィック

ブリスベン
メルボルン
パース
シドニー
オークランド*1
北京
大連
広州
上海
天津
深圳
蘇州
香港
杭州
台北
高雄

チェンナイ
ムンバイ
ニューデリー
ソウル
バンコク
マニラ
ハノイ
ホーチミンシティ
ジャカルタ
クアラルンプール
シンガポール
グアム
サイパン
ヤンゴン*3

アメリカス

アトランタ
シンシナティ
シカゴ
コロンバス
ダラス
デトロイト
ホノルル
ヒューストン
インディアナポリス
カンザスシティ
ロサンゼルス
ナッシュビル
ニューヨーク

ポートランド
サンディエゴ
サンフランシスコ
サンノゼ
シアトル
トロント
バンクーバー
メキシコシティ
ティファナ
シダファレス
サンパウロ

*1 ドバイはロンドンから、オークランドはシドニーから日本語サービスを提供

*2 パリからアフリカの一部に日本語サービスを提供

*3 ヤンゴン: デロイトのコレスポンデント・ファームとしてミャンマー・ヴィガー・カンパニーがサービスを提供

海外約70都市で地域に適合したきめ細やかなサービスを提供いたします

日系企業サービスグループ(Japanese Services Group: JSG)は、デロイトのグローバル戦略に有機的に組み込まれた、日系企業の国際的発展を支援するために確立された専門家集団です。JSGは、日本の文化や習慣を十分に理解する、約880名に及ぶ日本語バイリンガルのプロフェッショナルを世界約70都市に配し、そのグローバルネットワークによる豊富な経験と知識で、高品質で幅広いサービスを提供します。JSGの中核であるトーマツグループは、35年以上に及ぶ国際的サービスの実績を有し、クライアントのニーズを十分理解しながら、海外各地の専門家との連携のもと日本から強力に日系企業の成長をサポートしています。

日本企業の海外事業展開を支援する専門家集団が現地と日本の双方から支援

日本企業の海外進出支援や海外事業の再構築には、現地を熟知したエキスパートが不可欠なことは言うまでもありません。同時に、多種多様な業界業種のさまざまな特性を理解したエキスパートがサポートすることで、より効果的、効率的に目標に到達する道をアドバイスすることができます。地理的にも、現地はもちろん、日本においても、多重多層に支援することができるため、意思決定のスピードを上げ、国や地域をまたがった難しい調整も円滑に行えます。

アジアビジネスサポートグループの創設

今後の成長が期待されるアジアにおいて、日本企業の進出や事業拡大が加速しているなか、日本国内においてははまだ実践的な事業の進め方・見直し方について専門家の支援を受けられる環境が限られています。この課題を解決するため、2013年3月、トーマツグループにおけるアジア駐在経験者やアジアビジネスの専門家によるチームであるアジアビジネスサポートグループを発足。現地デロイトと連携し、日本国内とアジア各国の双方から支援を提供できる体制を整えました。

中南米デスクの発足

2013年10月には、中南米デスクを発足しました。アジアビジネスサポートグループと同様に、現地デロイトと連携し、日本国内と中南米各国の双方から支援を行っていきます。

中国及びインドへ進出する日本企業へのサポート体制

トーマツは20年以上にわたり中国に進出する日本企業に専門的で均一されたベストなサービスを提供するために「中国室」を設置しています。2010年4月には、インドに駐在経験を有するメンバーを中心に「インド室」を開設し、インドに進出する日本企業を支援する体制を整えました。「中国室」と「インド室」は、現地デロイトのプロフェッショナルと連携して、クライアントのあらゆるニーズに対し、One stopで高品質なサービスを提供しています。

ミャンマー進出支援を開始

2013年1月に、デロイトはコレスポンデント・ファームとしてMyanmar Vigour Co.Ltdと提携しました。これに伴い、トーマツは2013年3月に、日本人をミャンマーに派遣。ミャンマーに進出する日系企業を支援していきます。



クライアントの期待に応えるために ー総合力を活かしたサービスー

統合サービス(IMO) ～複合的な問題を専門家がー丸となって解決～

経営課題を、迅速かつ、適切に解決する企業が大きな成功を生む一方で、対応が遅れると機会を逃し競争から脱落してしまうのが、ビジネスの厳しさです。クライアントの経営課題解決に向けて、デロイトが全世界のメンバーファームの知見を集約した統合サービスがIMO(Integrated Market Offering: アイモ)です。世界中の様々な分野の専門家が、クライアントの成功を目的に、実績あるサービスを体系的に整理し、統合したものです。トーマツグループ各社も本活動の一翼を担っており、新たなIMOの開発に日々取り組むとともに、IMOのノウハウを活用し、価値を生み出す首尾一貫したサービスを提供しています。

4つのグローバル統合サービス

FT
(Finance Transformation)
グローバル対応、人材育成、IT、税務等、財務・会計領域の革新を支援する

GRC
(Governance Risk & Compliance)
リスクの発現を防ぎ、事業の価値を守り、育てるための体系的な経営管理手法を提供する

M&A
戦略作りから、買収後の統合まで、M&Aライフサイクルをフルカバーし、M&Aの成功と価値向上に貢献する

DA
(Deloitte Analytics)
データ分析の能力を広範な専門領域で活用し、課題解決力を格段に高める

M&A

グローバルM&Aを現地デロイトと一体となって支援します

多くの日本企業が成長と最適化を目指して、グローバルM&Aに挑戦しています。M&Aの成功とは、M&A後に当初目標以上の成果を継続的に出すことです。デロイトの拠点は、世界150カ国以上にあり、この一連の活動を、切れ目なく支援できる体制をグローバルに構築しています。具体的には、M&A候補のリサーチ、スキームの検討段階から、クロスボーダーでチームを編成し、ディールの実行までを支援します。M&A後は、統合計画立案と実施、ガバナンスと運営モニタリングの仕組みまで、現地デロイトと日本で緊密な連携をとり、成果の実現に貢献します。

DA (Deloitte Analytics)

デロイト アナリティクスを活用して課題の可視化と的確な対応を支援します

ビッグデータの解析により、これまで見えなかったものを把握することが可能になります。デロイト アナリティクスには、会計監査、不正予防、業務効率化、顧客管理など、豊富な不正解決事例が蓄積されています。これまでは、ひとつの不正が発覚すると、その原因を調べ、予防するためにコントロールのレベルを全社で高めるといったことが行われていましたが、デロイト アナリティクスを活用すれば、最も効き目のある施策と分野をピンポイントで特定し、データによるモニタリングで不正リスクの発現を予防することができます。

統合サービスとインダストリーアプローチの融合

国や産業界が直面する課題は、日々変化しています。トーマツグループでは、常に先を見越して課題設定を行い、グループの持つ総合力を、社会全体や各業界の発展に活かすべく、新たな統合サービスを開発しています。

今年新たに設置した農林水産業ビジネス推進室はその一例です。近年注目されている農林水産業ビジネスに関わる企業が抱える課題に対し、トーマツグループの総合力を活かした一気通貫での付加価値サービスを提供します。また、国をはじめとする行政への政策提言及びインフラの整備支援により、日本の農林水産業強化に貢献します。

CFOプログラム To be the “Trusted Advisor”

急速なグローバル化で企業の競争は激化し、CEOと両輪を成すCFOの重要性は増しております。こうした中、トーマツでは、CFO組織を強くしていくために、企業ごと、業界ごとではなく、日本企業全体としての取り組みが必要だと感じています。

トーマツは、グローバルに展開するプロフェッショナルファームとして、CFO同士の交流の場の提供や、次世代CFO人材の育成、CFOの意識調査及びCFOが抱える課題への示唆の提供を行っております。こうした取り組みを通して、CFOのTrusted Advisorとなることを目指しています。

CFO VISION カンファレンス

Look ahead

CFOによるCFOのためのネットワークイベント

現役CFO同士の交流を深めていただくネットワークイベントです。昨今の経営環境や企業が抱える課題に関する有識者ならびに現役CFOによるセミナーセッションを行います。

・年1回開催

2013年8月27日 第1回実施

「Change the Future of...
～持続的成長に向けた変革シナリオ」

参加企業数:98社
参加者数:146名
(うち役員:95名)



Next CFO Society*

Start ahead

企業や業界を超えた次世代CFOコミュニティ

次世代CFO人材の育成と交流の促進を目的としたコミュニティです。

毎回、講師を招き、CFO組織が抱える課題に対してディスカッションを行います。

・6月、9月、12月、3月の年4回開催

・9月は、毎年1泊2日の合宿形式にて実施

2013年9月6-7日
第8回開催(サマーキャンプ)

「次世代ファイナンス組織に向けた変革の道」

参加企業数:30社



*Next CFO Societyは日本CFO協会と共催で運営しております

CFO サーベイ

Think ahead

CFOにフォーカスした定期サーベイ

各国のCFOを対象に行う調査です。グローバルならびに日本における課題認識やその動向を分析します。

・年4回実施(予定)

2013年8月27日 第1回実施

Part1: CFOは昨今の経営環境をどう読むか
Part2: CFOとして何に取り組むべきか



季刊誌「百家争鳴」

Think ahead

経営課題をCFO目線で読み解く情報誌

CFO向けの情報誌です。トーマツの各分野の専門家が、企業が抱える様々な課題に対して、CFOがどのように考え、行動するべきか、考えのきっかけとなる示唆を提供しています。

・10月、1月、4月、7月の年4回発行

2013年10月号

「グローバルで戦うために」

2013年7月号

「アイデアを価値につなげる力」

2013年4月号

「データを価値に変える」

2013年1月号

「戦略的税務のススメ」



デロイト トウシュ トーマツ リミテッドとは

トーマツグループがメンバーファームとして所属するデロイト トウシュ トーマツ リミテッド(DTTL)は全世界150カ国を超えるメンバーファームのネットワークからなる総合プロフェッショナルファームであり、ワールドクラスの品質と地域に対する深い専門知識により、グローバルとローカルの両視点から監査、税務、コンサルティングおよびファイナンシャル アドバイザリーをクライアントに提供しています。

DTTLの約200,000名に及ぶパートナーおよびスタッフは、クライアントに対して、また私たち人材に対して“standard of excellence”となることを目指し、“誠実性”、“卓越した価値の提供”、“相互信頼”、“文化的多様性”といった共通の価値観のもと、業務を行っています。

業務収入

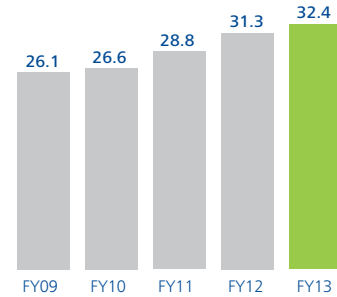
2013年5月末会計年度におけるメンバーファームの合計業務収入が324億米ドルとなり、当グローバルメンバーファームネットワークとして過去最高となりました。

合計業務収入は米ドル換算で3.5%、各国の現地通貨で5.6%伸び、2009年以来成長を続けています。

DTTLメンバーファーム

業務収入

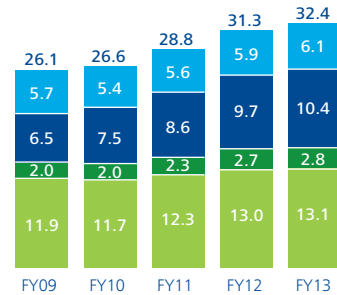
(単位:10億米ドル)



DTTLメンバーファーム

ファンクション別業務収入

(単位:10億米ドル)

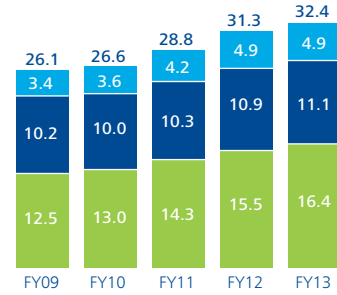


■ 監査
■ ファイナンシャル アドバイザリー
■ コンサルティング
■ 税務・法務

DTTLメンバーファーム

地域別業務収入

(単位:10億米ドル)



■ アメリカ地域
■ ヨーロッパ・中東・アフリカ地域
■ アジアパシフィック地域

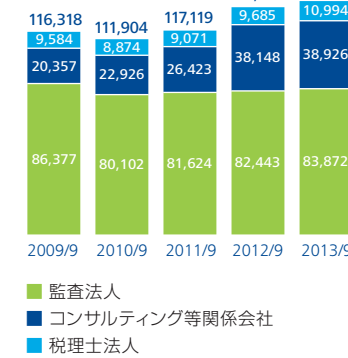
トーマツグループ業績

監査法人の業績につきましては、会社法監査が14社、金商法監査が6社減少したものの、金融商品取引法・会社法監査が25社、その他の法定監査が22社、その他の任意監査が13社増加したこと等により、被監査会社数は前年度と比較して43社増加し、当年度末の被監査会社数は3,642社となり、当年度における監査収入は645億80百万円(前期比0.3%増)となりました。非監査収入は、国際財務報告基準(IFRS)の助言・指導業務は減少したものの、IPO支援業務が増加したこと等により、192億91百万円(前期比6.9%増)となりました。

なお、コンサルティング等関係会社の業務収入合計は389億26百万円(前期比2.0%増)、提携税理士法人である税理士法人トーマツの業務収入は109億94百万円(前期比13.5%増)となりました。2013年9月末のグループ人員は、8,048人(561人増)となりました。法人別には、監査法人5,463人(関係会社のパートナー兼務者を除く)、コンサルティング等関係会社2,030人、税理士法人555人です。

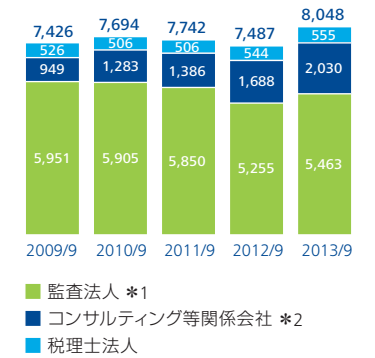
業務収入

(単位:百万円)



人員数推移

(単位:人)



(注) *1 監査法人人員数には、コンサルティング等関係会社所属の社員を含まない。
*2 コンサルティング等関係会社人員数には、監査法人所属の社員を含まない。

トーマツグループ一覧

有限責任監査法人トーマツ
デロイト トーマツ コンサルティング株式会社
デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー株式会社
トーマツ イノベーション株式会社
株式会社トーマツ審査評価機構
デロイト トーマツ リスクサービス株式会社

アカウントینگ アウトソーシング トーマツ株式会社
トーマツ ベンチャーサポート株式会社
トーマツ eラーニング ソリューションズ株式会社
トーマツチャレンジド株式会社(特例子会社*)
税理士法人トーマツ

*「障がい者の雇用の促進等に関する法律(障がい者雇用促進法)」に基づく

有限責任監査法人トーマツについて

<法人概要>

有限責任監査法人トーマツは、日本初の全国規模の監査法人として1968年に設立されました。現在は、監査、エンタープライズ リスク サービス、株式公開支援、財務調査等を提供する日本で最大級の会計事務所のひとつです。国内約40都市に約2,900名の公認会計士を含む約5,100名の専門家を擁し、経済社会の健全な発展のために、日本全国でさまざまな業種の多国籍企業および日本企業等にサービスを提供しています。

国内事務所所在地

主たる事務所 東京都港区芝浦四丁目13番23号 MS芝浦ビル

その他の事務所 札幌、仙台、盛岡、福島*、新潟、さいたま、高崎*、千葉、横浜、長野、松本*、金沢、福井*、富山、静岡、浜松*、名古屋、岐阜、三重、京都、大阪、滋賀*、奈良、和歌山、神戸、岡山、広島、松江、高松、松山、北九州*、福岡、大分、熊本、長崎*、宮崎*、鹿児島、那覇

* 連絡事務所

資本金 810百万円(2013年9月末日現在)

沿革

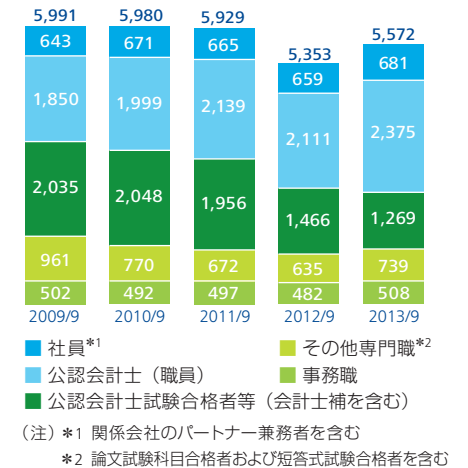
- 1968年 5月 等松・青木監査法人設立
- 1975年 5月 トウシュ ロス インターナショナル(TRI)へ加盟
- 1986年10月 名称を「サンワ・等松青木監査法人」に変更
- 1990年 2月 デロイト ハスキングス アンド セルズ インターナショナルとトウシュ ロス インターナショナルが合併。国際名称を「デロイト ロス トーマツ インターナショナル(現 デロイト トウシュ トーマツ リミテッド(DTTL))」*に変更
- 名称を「監査法人トーマツ」に変更
- 2009年 7月 有限責任監査法人へ移行し、名称を「有限責任監査法人トーマツ」に変更

*各国のプロフェッショナルファームをメンバーとする英国の法令に基づく保証有限責任会社です。詳細は、8 ページ「デロイト トウシュ トーマツ リミテッドとは」をご覧ください。

人員数 (2013年9月末現在)

社員	公認会計士	566
	特定社員	115
職員	公認会計士	2,375
	公認会計士試験合格者等	1,269
	その他専門職員	739
	事務職員	508
合計		5,572名

人員数の推移

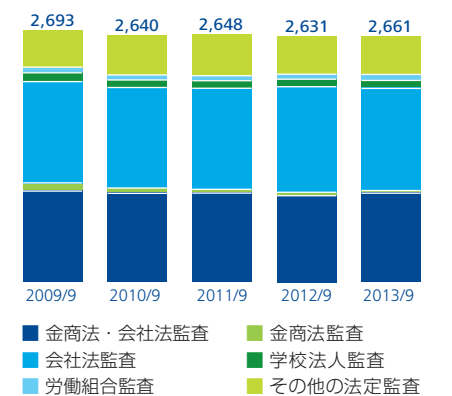


監査証明業務

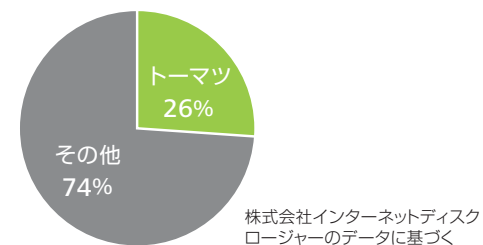
監査関与会社数 3,642社 (2013年9月末現在)

業務種別	社数(社)
金商法・会社法監査	956
金商法監査	16
会社法監査	1,122
学校法人監査	83
労働組合監査	54
その他の法定監査	430
その他の任意監査	981

法定監査関与社数推移



全上場企業に占めるシェア



非監査証明業務

非監査関与会社数 3,216社 (2012年10月~2013年9月)

トーマツは経済社会およびクライアントの多様なニーズに応えるため、株式公開支援、企業の財務調査、デューデリジェンス、内部管理体制構築支援のためのシステム監査等、幅広い財務関連サービスの提供に努めております。

<ガバナンス>

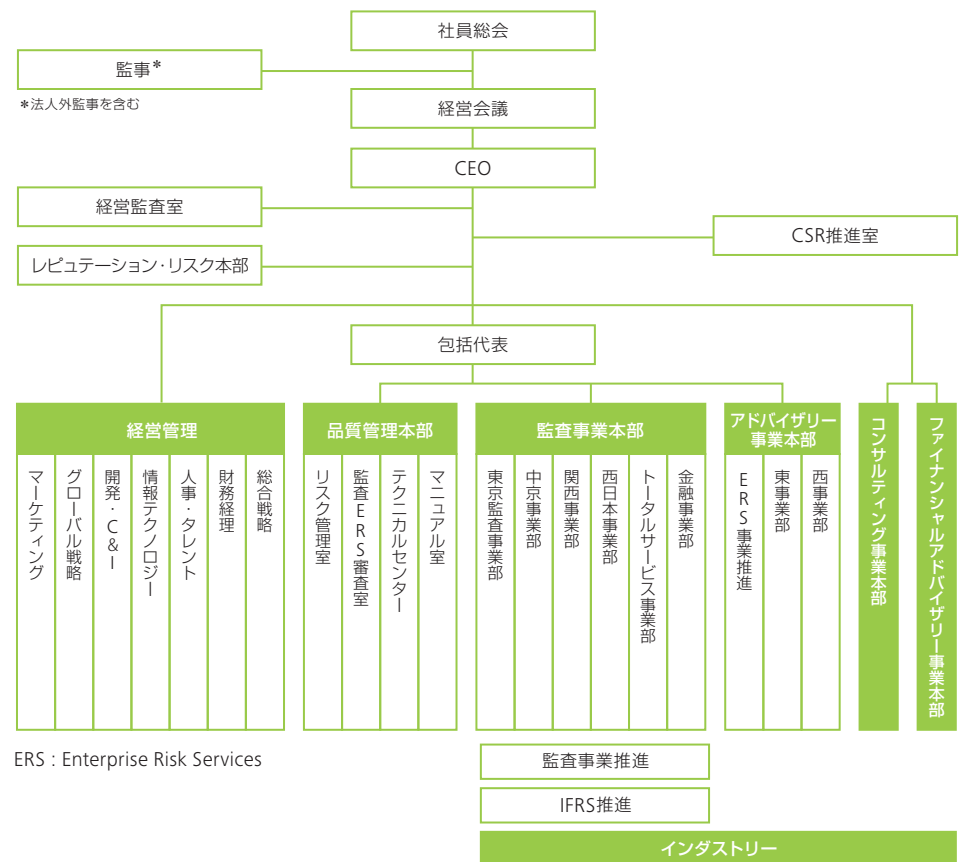
有限責任監査法人トーマツは、社員総会を最高意思決定機関としていますが、迅速かつ適切な意思決定を容易にするため、経営意思決定機関として経営会議を置き、通常の法人経営に関する事項は、経営会議において決定しています。

法人の経営執行は、グループ全体の最高経営責任者であるCEOの指揮の下、監査法人の責任者である包括代表が行っています。法人の日常業務については、経営意思決定を受けて、CEOに指名された所管の執行役が担当しています。

また、CEO、包括代表及び執行役の職務執行を監督するため監事3名を選任し、うち1名は法人外監事としています。さらに、CEO直轄の経営監査室を設置しています。

CEO、包括代表、経営会議議長、経営会議メンバー及び監事は、推薦規則に基づき候補者を選出し、社員による信任投票を経て、社員総会の承認により選任しています。なお、経営会議メンバーの任期は3年間です。

有限責任監査法人トーマツ組織図 (2013年12月現在)



<財務状況>

当期(2012年10月1日～2013年9月30日)の有限責任監査法人トーマツの決算につきましては、次のとおりです。なお、記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

要約貸借対照表

2013年9月30日現在

(資産の部)		(負債の部)	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	38,948	【流動負債】	17,894
現金及び預金	20,985	未払金	6,276
業務未収入金	9,569	前受金	4,661
前払費用	1,977	短期借入金	200
繰延税金資産	2,075	預り金	3,113
短期貸付金	2,046	賞与引当金	1,268
その他	2,305	その他	2,375
貸倒引当金	△10	【固定負債】	9,311
【固定資産】	11,587	預り保証金	1,586
有形固定資産	1,297	退職給付引当金	6,551
無形固定資産	747	その他	1,173
投資その他の資産	9,542	負債合計	27,205
関係会社株式	1,351	(純資産の部)	
敷金及び保証金	5,219	【社員資本】	23,331
保険積立金	221	資本金	810
繰延税金資産	2,528	資本剰余金	3,301
その他	300	利益剰余金	19,220
貸倒引当金	△78	純資産合計	23,331
資産合計	50,536	負債及び純資産合計	50,536

要約損益計算書

自 2012年10月1日
至 2013年9月30日

科目	金額
業務収入	83,872
業務費用	
人件費	65,341
人材開発費用	1,581
ファシリティ費用	4,909
情報システム及び通信費	2,281
海外活動関連費用	2,372
その他業務費用	4,711
営業利益	2,673
営業外収益	636
営業外費用	13
経常利益	3,296
特別利益	164
特別損失	22
税引前当期純利益	3,438
法人税、住民税及び事業税	776
法人税等調整額	804
当期純利益	1,858

信頼されるプロフェッショナルファームであるために ー品質管理に対する取り組みー

トーマツグループは経営理念として「経済社会の公正を守り率先してその発展に貢献する」、「クライアントの期待を超える知的専門サービスを総合的に提供する」を掲げ、常に品質を重視した業務運営をすることで、最も信頼されるプロフェッショナルファームを目指しています。

品質管理体制

トーマツのコア業務である監査業務は高度に社会性を帯びた業務です。その業務を適正に行うために、監査法人の品質管理体制に関する最終的責任を負っている最高経営責任者（CEO）の指揮のもと、契約の締結から監査報告書の発行に至る監査の全プロセスにおいて品質管理の方針、手続を整備し、運用しています（参照：右図）。企業会計審議会の「監査に関する品質管理基準」に準拠すると共に、全世界のデロイトメンバーファームが遵守すべき基本的な方針やルールを定めたDPM(Deloitte Policies Manual)に沿ったマニュアル等に基づき、全世界共通の高品質な監査業務の提供を実施しています。

なお、監査業務以外（含むコンサルティング）の業務についても、上記DPMに基づいたマニュアル等を策定・運用し、高品質なサービスを提供しています。

コンプライアンス（独立性・職業倫理の確保、インサイダー取引防止、情報管理等）

コンプライアンスガイドラインを整備し、行動規範、行動指針さらに各指針における具体例を示すことで「覚えるコンプライアンス」ではなく「考えるコンプライアンス」の浸透を図っています。また、外部からの通報も可能なコンプライアンス・ホットライン（トーマツ内および顧問弁護士事務所の専用回線）を設置し、コンプライアンス違反の早期発見と防止に努めています。

独立性・職業倫理の確保

トーマツでは、公認会計士法、日本公認会計士協会会則および倫理規則等の職業規範等を念頭に置き、職業的専門家としての誇りを常に持って職務を行うことを徹底しています。独立性については、株式等の保有に関するモニタリングシステムへの登録や、独立性に関する内部検査、年次確認といった手続を実施し、その確保を図っています。

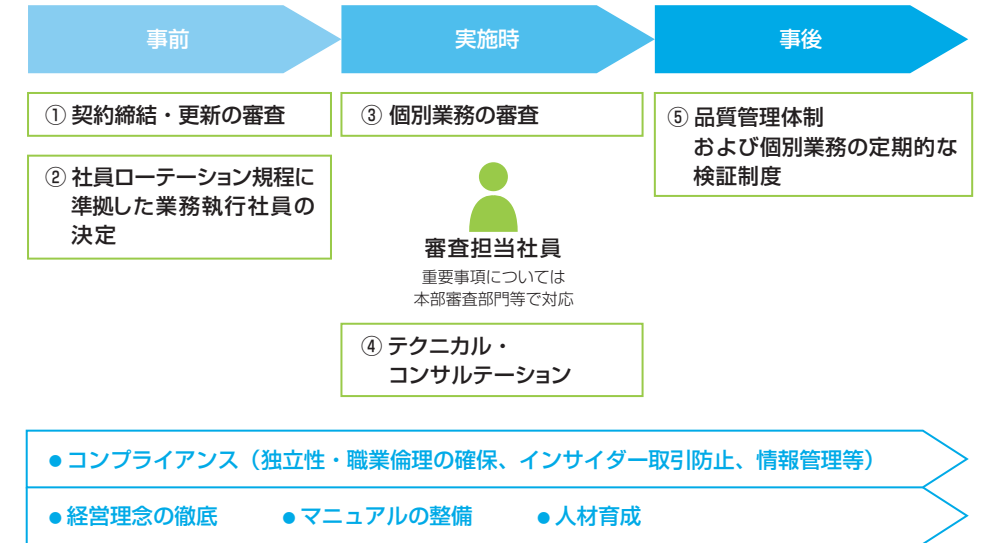
インサイダー取引防止

「インサイダー取引防止規程」を制定し、研修等を通じてインサイダー取引防止の周知徹底を図り、さらに最高経営責任者（CEO）から、社員および職員に対し必要に応じて注意喚起を行っています。

情報管理

トーマツは、クライアントからお預かりしている情報の大切さを十分に認識し、社員および職員に対する情報保護の教育や研修などを通して、情報の適正な管理を徹底しています。

監査業務の品質管理体制



①契約締結・更新の審査

所定の規程に従い、監査リスクを評価し、独立性および利害関係に問題ないことを確認した上で契約を締結しています。

②社員ローテーション規程に準拠した業務執行社員の決定

公認会計士法等に準拠する内部規程を定め、業務の専門性を勘案して決定しています。

③個別業務の審査

監査を含めた全ての意見表明業務に審査担当社員を指名し、業務に直接関与するメンバーとは独立した立場から客観的な視点で業務に係わる審査を行うことにより、品質の確保に努めています。加えて、その他重要事項については本部審査部門等にて対応しています。

④テクニカル・コンサルテーション

会計・監査上の諸問題のためのテクニカルセンター・審査室の設置やデロイトのグローバルネットワークを活用しています。

⑤品質管理体制および個別業務の定期的な検証制度

デロイトの指揮の下で、毎年、各メンバーファームの品質管理体制や個別監査業務等がDPM等に準拠して整備・運用されているかについての定期的な検証が実施されています。

高品質な会計監査業務の実施

トーマツは高品質な会計監査の実施を通じて、クライアントの投資家に対する適切な財務報告責任の遂行やガバナンス向上に貢献し、資本市場の健全な発展に寄与いたします。

グローバル監査責任者による統合された監査業務実施体制

クライアントの直面する経営環境の変化やビジネス上の課題を踏まえた的確な会計監査業務を遂行するために、デロイトではグローバル監査チームの責任者の指揮のもと、国やファンクションを超えたシームレスな業務提供を行うチーム体制を構築する制度があります。これにより、監査チームはデロイトおよびトーマツグループのインダストリーの知見やグローバルネットワークを最大限活用し、クライアントの財務報告やガバナンス等に関する課題に対して早期に対応することが可能となっています。

全世界で一貫した高品質な業務提供を可能とする先進的テクノロジー

全世界で一貫して適用されているデロイトの監査手法・システム・専門的ナレッジは、クライアント固有の状況と複雑性に柔軟に対応できます。クライアントのグローバルビジネスと関連する内部統制の徹底的な理解に焦点を当てる会計監査業務の実施により、適切なリスク評価とクライアントへの洞察の提供が可能となります。

Engagement Management System(EMS)

トーマツは、他法人に先駆けて90年代よりPCを利用した全世界のデロイト共通の監査システムを使用してきました。現在使用している最新のEngagement Management System(EMS)は、以下の特徴により、監査チームの効果的・効率的な監査を強力に支援します。



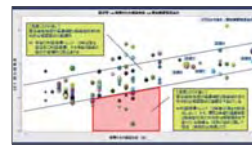
*EMS 監査ステータス・ダッシュボード

- グローバル監査における各関係会社ごとの監査関連リスク情報の一元管理
- クライアントの規模、インダストリー及び重要なリスク領域に対応した最新ナレッジの利用
- 監査の進捗に関する情報をリアルタイムに管理する監査ステータス・ダッシュボード*の利用

Audit Analytics(オーディット・アナリティクス)

Audit Analyticsは、監査先の取引データを様々な属性情報や外部データと組み合わせることで分析・可視化し、経験則では捉えられない相関や傾向、推移を識別して効率的かつ効果的な監査を実施するデロイト独自の先進的な手法です。

例えば、年間取引全量を一度に分析・可視化し、リスク識別から検証対象取引の選定までを一貫して行うことにより、特異な傾向や例外を個別取引までブレイクダウンして識別・検証し、大多数の定型的な取引に対しては効率的な手続を実施します。



Audit Analytics 分析結果例

企業や社会から求められる「人材の育成」

高品質なプロフェッショナルサービスをいかに発揮するために

人材育成の基本理念

トーマツの人材育成の基本理念は、経済社会からの要請に真摯な姿勢で対応し、高品質なサービスを提供する、信頼性の高いプロフェッショナルを育成・輩出するというものです。この実現のために、一人ひとりの経験や能力、求められる専門性に応じた多様なカリキュラムを用いて、知識やスキルの獲得にとどまらず、健全な経済社会の発展に貢献しようという高い志をも兼ね備えたプロフェッショナルの育成に取り組んでいます。

— 人材の育成とそのサイクル —

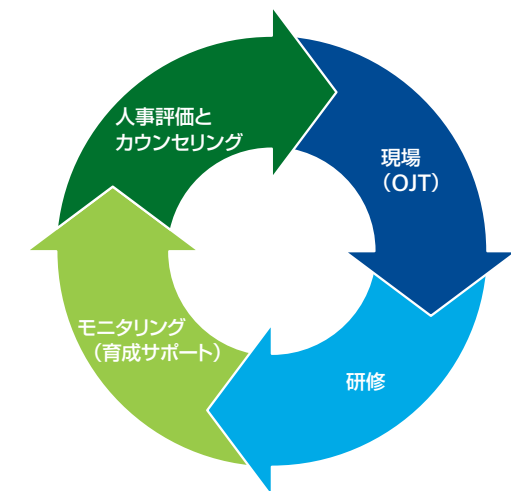
多様な人材の活用を支える仕組み

人事評価とカウンセリング

評価は、デロイト全体で用いられている基準に準拠した項目を用いて実施し、グローバルレベルで求められる資質・能力の共通化を心がけています。また、その結果を活用してカウンセリングを実施し、今後どのような点を伸ばすべきかについてフィードバックを行っています。

現場(OJT:On-the-Job Training)

人材育成の中心的な位置を占めるのが、実務を通じてのOJTです。そのため、各人がプロフェッショナルとしての能力を遺憾なく発揮できるよう、必要な経験を積むための人材配置を心がけるとともに、実際の業務を行う中で、上位者から下位者に対して、育成の基礎となる指摘やアドバイスを積極的に行っています。



モニタリング(育成サポート)

プロフェッショナルとしての成長をより促進するため、様々な取り組みが各現場で実施されています。先輩と後輩がペアとなり、後輩の業務状況の確認や今後の成長に資するアドバイスを実施したり、各自の経験等のデータベース化を進め、効果的な成長の支援に取り組んでいます。

研修

サービスに直接結びつく専門知識に関わる研修はもちろんのこと、クライアントとのコミュニケーションの向上に資する研修も積極的に展開、実施しています。また、目的に合わせ、体験型・参加型の研修や、「いつでも/どこでも」受講できるe-Learningを充実化し、個人のニーズに応える学習環境を提供しています。

経験を活かした人材の育成

トーマツは、多様化する社会やクライアントのニーズに応えるため、総合力を発揮できる組織を構築し、創造的で先見性に富んだサービスの提供を目指しており、これら活動の基礎となるものは人材です。そのためには、組織を活かす構成員一人ひとりが専門性を磨き、最善のサービスを提供することが私たちの責務であり、社会的使命であると考え、それを担う人材の育成に取り組んでいます。

— 多様な人材を育成・輩出する多彩なプログラム —

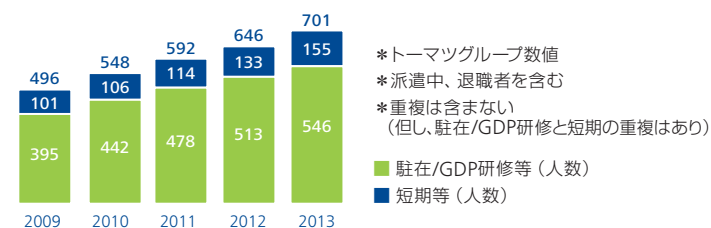
グローバル対応力の強化

海外展開を拡大する企業等が抱える課題を解決するために、グローバルな視点で考え、行動できる人材を育成することを目的に、語学研修をはじめ、海外への異動などの経験を戦略的に展開しています。海外での実務経験を経て、プロフェッショナルとしての自覚と責任感を持ち、人間的にも見識・信望が厚く、主体的に判断し自立的に行動する人材の育成に努めています。

海外派遣プログラム

企業のグローバル化に対応できる人材を安定的・継続的に輩出することを目的に、テロイトと共同で日本の研修プログラム等を開発するとともに、派遣プログラムとして、「海外駐在員制度(4年程度)」、「GDP研修制度(2年程度)」、「短期派遣制度(数カ月程度)」などを整えています。プログラムを通じて、世界各国のメンバーファーム間で相互の人材交流を行うことにより、グローバルでのサービス提供を可能とする体制づくりを図っています。各国で得た異文化経験や知識やネットワークを意欲的に活かし、企業の海外展開をサポートできる人材の育成に努めています。

海外派遣プログラムを通じた
海外勤務経験者数の5年間の推移
(2013年9月末現在)



人材育成を視点とした人事異動

ファンクションを超えた協働を実践

トーマツグループとして、優秀な人材の育成・活用を図ると共に、監査だけではなくファイナンシャルアドバイザーやコンサルティング、税務といったファンクションを超えた協働を実践できる人材を育成するために、転勤、部門異動を積極的に進めています。また、幅広いニーズに加え、より専門的なニーズに応えるため、インダストリーに精通した人材の育成も強化しています。

外部機関での貢献

広い世界で専門性を発揮

様々な企業や各種団体に出向し、その中の一員として専門性を活かし貢献することは、人材育成の観点からも貴重な経験を積む機会であるとともに、経済社会の持続的発展にも寄与することになると考えています。

主な出向先には、事業会社(商社やメーカー等)、官公庁、金融機関、日本公認会計士協会(JICPA)、企業会計基準委員会(ASBJ)などがあります。

ダイバーシティ推進による新たなイノベーション

多様な人材の個性と能力を尊重し、異なる成長モデルに応じた働き方をサポートするため2013年1月に「ダイバーシティ推進室」を設置しました。個性豊かなプロフェッショナルを育成し、社員・職員がいきいきと働ける職場を実現します。経済社会の変化に対応できる柔軟で強固な組織になることを目指し、多様な働き方の推進、女性の活躍支援等に取り組んでいきます。

TWinプロジェクト活動

仕事も熱心にプライベートも充実したWin-Winな生き方の支援を目的に組成されたメンバー参加型のプロジェクトです。多様な働き方の実践を目指して全国で様々なイベントや活動を行っています。具体的な活動内容は、次頁CSR活動マップ「■多様な働き方の支援」をご覧ください。



監査法人初となる次世代認定マーク「くるみん」を取得

法で定められた内容を上回る育児休業制度の整備や次世代育成支援、ワークライフマネジメント促進に向けた社内啓蒙活動等を積極的に行ったことから、子育てサポート企業として厚生労働省により認められ、2013年7月17日付で監査法人で初となる次世代認定マーク「くるみん」の取得に至りました。

キャリア大学—講座提供—(次世代育成支援)

2013年8月、公認会計士や監査法人により関心を持ってもらうため、多くの事業会社や官公庁とともに「キャリア大学」に講座を提供しました。開催日当日は、全国から集まった数十名の大学一年生を対象に、監査法人や会計士の知識に加え、監査業務やアドバイザー業務に関する実践的なケーススタディに取り組んでもらいました。

キャリア大学：企業が大学生に講座を提供する教育貢献の一環。



持続可能な社会実現のために

トーマツはプロフェッショナルサービスファームとして、その経営理念に基づき社会の発展に貢献します。互いに個性を尊重しながら多様な人材が協働を通して自らの総合力を高めること、倫理的な行動を率先・奨励すること、学識と文化の発展を図ること、さらに環境への配慮を促進することにより貢献します。人材の育成、クライアントに対するサービスの提供、環境に配慮した法人運営の推進、地域・社会への貢献と参画を通してこれらを実現していきます。

CSR活動マップ

大阪

- 大阪打ち水大作戦参加 13
- 大阪マラソンボランティア／大阪マラソン「クリーンUP」作戦参加 14
- ◆NPO法人セカンドハーベストジャパンへの備蓄品の寄贈
- 会計大学院学生向けインターンシップ
- 退職者交流会
- Hello!トーマツ職場見学
- ◆チャレンジ大阪オフィス
- ◆ランチタイム手話講座

福岡

- 八女市災害ボランティア活動 16
- 博多湾沿岸における松原の整備・保全活動 17
- ◆NPO法人子どもの村 福岡への寄付
- 女性の活躍推進福岡県議会の「自主宣言登録制度」に参加
- ◆チャレンジ福岡オフィス
- ・特別支援学校等インターンシップ実習生受け入れ 18
- ・ジョブコーチ実習生受け入れ

大分

- みんなの森づくり市民植樹祭ボランティア 19

鹿児島

- おはら祭りの清掃活動 20

京都

- 京都梅小路公園清掃活動
- SCP*(立命館高校)
- ◆チャレンジ京都オフィス
- ・インターンシップ実習生受け入れ 12

岡山

- 旭川河川敷清掃活動 15

和歌山

- トーマツの森 和歌山県龍神村

愛知

- 企業の森～Tohatsu.Greening～(あいち海上の森)
- 間伐材を使った子ども向け工作教室 10
- 名古屋駅地区街づくり協議会清掃活動 11
- トーマツファミリーデー
- 似顔絵コンテスト
- 退職者座談会
- ◆チャレンジ名古屋オフィス

活動分類

- 東日本大震災被災地復興支援
- 専門性を生かした教育支援
- 地域の環境保全活動 ◆NGO・NPO等への支援
- 環境に配慮したオフィス作り
- 多様な働き方の支援 ◆障がい者雇用の促進
- ◆その他

北海道

- 札幌ドーム周辺清掃活動 1

岩手

- 大船渡津波伝承館プロジェクト
- 被災地でサンタに扮してボランティア 2
- 仏像の絵を描くワークショップ「千人仏プロジェクト」 3

宮城

- 復興支援室
- 気仙沼人材育成道場・経営未来塾
- 気仙沼産水産加工組合 立上支援
- 「東北お遍路(こころのみち)プロジェクト」への参画
- 宮城復興局後援「買おう社販」への協力
- 南三陸町視察ツアー開催 4

群馬

- トーマツの森 群馬県高崎市吉井町
- 夏のトーマツの森と富岡製糸場見学
- MESE*(群馬県立高崎高校) 5

千葉

- ◆チャレンジ市川オフィス 6

東京

- 大船渡津波伝承館プロジェクト「エコキャップ発送式典」開催
- 「丸の内行幸マルシェ」出店サポート
- 「三陸なう(上野)」開催サポート
- 「津波伝承市場(相模大野)」開催サポート
- 「全国津波フォーラム」開催サポート
- ドキュメンタリー映画「傍～3月11日からの旅～」自主上映会
- 日比谷公園の花壇の植え替え
- ◆FITチャリティ・ラン2013
- ◆NPO法人国際協力NGOセンター(JANIC)主催セミナーでの講演(DTCプロボノ)
- ◆公益財団法人ケア・インターナショナルジャパンとの連携(DTCプロボノ)
- ◆公益財団法人プラン・ジャパンへの支援(DTCプロボノ)

静岡

- 安部川の河川敷清掃活動 9

活動分類

- 東日本大震災被災地復興支援
- WWFジャパン「暮らしと自然の復興プロジェクト」への寄付
- 使用済み切手とペットボトルキャップの回収
- ゴミの分別、リサイクル
- 節電、CO₂削減への取り組み

海外への支援

- ハリケーン「サンディ」救援金

*MESE : Management Economic Simulation Exercise
SCP : Student Company Program
(ともに、公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本が提供するプログラム)

トーマツグループのCSR方針

地域や社会のために	環境に配慮した業務活動の推進	人材の育成 職場での取り組み	クライアントへの 専門サービスの提供
-----------	----------------	-------------------	-----------------------

全国での取り組み

- 東日本大震災被災地復興育英募金
- WWFジャパン「暮らしと自然の復興プロジェクト」への寄付
- 使用済み切手とペットボトルキャップの回収
- ゴミの分別、リサイクル
- 節電、CO₂削減への取り組み

トーマツグループ全オフィスにおけるエネルギー使用によるCO₂排出量
(単位:トン)

2010	2011	2012	2013
5,455	5,430	4,643	6,539

各年度の集計期間は、各年6月～5月

海外への支援

- ハリケーン「サンディ」救援金